



# かわはた



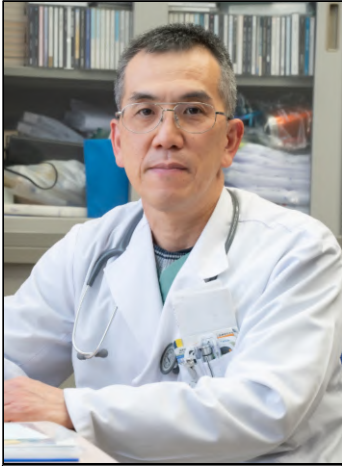
## <目次>

- P2 【 副院長 就任挨拶 】
- P3 【 新ドクター紹介 】
- P4,5 【 部署紹介 】
- P6 【 令和7年度 地域医療研修を終えて 】
- P7 【 緩和ケアと人生会議 】
- P8 【 永年勤続表彰 】
- P9 【 第2回お楽しみ食堂 】
- P10 【 放射線室 新しい検査装置を導入しました 】
- P11 【 退院後訪問食事指導がスタートします! 】
- P12 【 診療予定表 】



こちらのQRコードより病院ホームページ  
にアクセスできます。

# 副院長 就任挨拶



副院長 佐々木俊教

この度、副院長に就任しました佐々木俊教と申します。微力ではございますが、地域医療の発展と、より質の高い医療提供のため全力を尽くしてまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

私は平成元年に福島県立医科大学旧第2内科に入局し、同科や地域の急性期病院で研鑽を積んだ後、平成7年4月に当院に赴任しました。赴任後は主に高齢者医療に尽力し、地域医療の一端を担ってまいりました。

時の流れは早いもので、来てから31年が経過しました。自身も前期高齢者に近づいてきておりますが、今後もこれまでの経験を活かし、地域住民の方々が安心して医療を受けられる環境づくりに貢献したいと考えております。

当院は、地域に根差した医療機関として地域包括ケアシステムの推進にも力を入れており、医療・介護・予防が一体となったサービス提供を目指しております。今後も、皆様のご期待に応えられるよう精進してまいります。



副院長 数田良宏

このたび、副院長を拝命いたしました内科の数田良宏です。川俣の地に赴任してから、気がつけば二十年近くの月日が流れました。その間、地域の皆さまに支えていただきながら診療を続けてこられたことに、あらためて深く感謝申し上げます。

当院のスローガンは「医療で地域を支える」です。高齢化が進む川俣町では、医療・介護・生活支援がますます密接に結びついていきます。

その中で、病院が地域の皆さまにとって安心できる拠り所であり続けるためには、医師だけでなく、看護師、放射線技師、リハビリテーション技師、薬剤師、地域連携、医療事務など、すべての職員が同じ方向を向き、力を合わせていくことが欠かせません。また、同時に“支える側”である各職員が、やりがいを感じ、健康に生き生きと働けることも大切だと感じています。

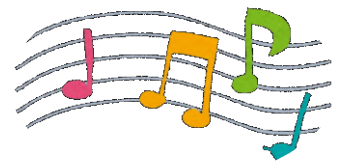
これからも、これまでと変わらず患者さん一人ひとりに寄り添いながら、「ここに来てよかった」と思っていただけ医療を提供できるよう努めてまいります。そして、職員が誇りを持って働ける、温かく風通しの良い病院づくりにも力を注いでいきたいと考えています。

地域の皆さまに信頼され、選ばれ続ける病院であるために、これからもどうぞよろしくお願い申し上げます。

# 新常勤医師紹介



内科部長 大島康嘉(おおしまやすよし)



出身地：静岡市

略歴：福島県立医科大学大学院修了

趣味：ワインと音楽鑑賞（クラシック）

ひとこと：よろしくお願ひいたします。

専門等

内科、総合内科専門医、消化器病専門医、日本内科学会認定内科医、消化器内視鏡専門医、日本医師会認定産業医、臨床研修指導医



## 小児科開設



4/21より  
小児科の診療が  
始まりました



武藤茂生(むとう しげお)

ひとこと：将来の町を背負う子供たちの夢実現のため、健康管理の役に立てればと思っています。

診療日：火曜日(午後)

金曜日(午後)

『 13:00~16:00 』



# 部署紹介

川俣病院で働くスタッフを  
部署の仕事と併せて紹介します

## 外来

当院の外来では、病気と向き合いながらも、この町で安心して通院し、自分らしく暮らし続けられるよう1人ひとりに寄り添ったサポートを心がけています。

診察の待ち時間や治療への不安など、どんな小さなことでもお気軽に看護師へお声がけください。顔の見える温かな医療で、地域の皆様の健康を、スタッフ一同、一丸となって支えられるよう精進してまいります。



## 3階病棟

3階病棟では、在宅・施設からの緊急入院や家族の介護負担軽減のためレスパイト入院、家族や本人の意向に沿いその人らしい最期を迎えられるよう緩和ケアにも対応しています。

また、症状が安定した患者さんを対象に、住み慣れた在宅や介護施設への早期退院を見据え医療・ケアをチームで提供しています。

多職種との連携と患者や家族の意向を大切に、子育て中の20歳代からプラチナまでの幅広い世代が活躍しています。



## 4階病棟

4階病棟では、日常生活に介助が必要な患者さんが安心して入院生活を送れるように支援しています。日々の生活を大切にしながら、食事・入浴・清潔ケアのお手伝いなど、1人ひとりの状態に合わせたケアを行っています。

特に清潔ケアには力を入れており、気持ちよく過ごしていただけるよう、清拭や入浴介助などを丁寧に行っています。また、患者さんや御家族が安心できるよう、多職種で連携しながら温かい関りを心がけています。これからも「この病院に来て良かった。」と感じていただける病棟を目指してまいります。



## 透析室

透析室では、人工透析という腎臓の代わりに血液を浄化する治療をおこなっています。腎臓の機能が弱くなってしまうと、尿として余分な水分や老廃物の排出が不十分になるため身体に不調をきたします。

人工透析は、週3回4時間が標準的で、医師・看護師・臨床工学技士によるチーム医療で、福島医科大学病院腎臓高血圧内科との遠隔診療も行っております。

より良い透析を目指して、患者さんと共に取り組んでいきます。



## 機能訓練室

機能訓練室は、地域の方々が安心して暮らし続けられるよう、入院・外来・訪問の各場面で専門的(理学療法士、作業療法士、言語聴覚士)なりハビリテーションを提供しています。

評価に基づいた個別プログラムを作成し、無理なく続けられる訓練を通して“できること”を広げるお手伝いをしています。

地域を支える病院として、いつでも気軽に相談できる身近な存在を目指し、切れ目のない支援を大切にしております。



## 院内フォト



内視鏡室にて



病棟での情報共有



透析室

# 令和7年度 地域医療研修を終えて

研修医の先生方より、今回の地域医療研修で印象に残ったこと・そこから学んだことなど、感想をいただきましたのでご紹介します。



福島県立医科大学附属病院  
草野 ひより

川俣町は広い範囲に家々が点在し、起伏のある地域で生活されている方も多いため、定期的な通院が難しい場面にたびたび出会いました。その中で、訪問診療や訪問看護、訪問リハビリが患者さんの生活を支える大切な役割を果たしていることを学びました。

訪問時は、どの患者さんもお家族もあたたかく迎えてくださり、医療者が地域の生活に寄り添う様子が印象的でした。

また、川俣町は福島市から車で30分ほどと近いにもかかわらず、医療環境や求められる支援が大きく異なり、地域の違いをあらためて感じました。

1か月間の研修を通して得た視点を今後の診療でも大切にしていきたいと思います。貴重な学びの機会をいただき、本当にありがとうございました。



施設での予防接種



外来診察



済生会福島総合病院  
小野 大樹

外来診療に加え、訪問看護や施設訪問も経験させていただき、患者さんの生活の場で医療を提供する意義を実感しました。

高齢者が多い地域では、特に家族関係を含めた生活背景や人生を踏まえた支援が必要であり、ここでは多職種・多施設が連携して支える体制が印象的でした。

貴重な学びの機会をいただき、スタッフおよび地域の皆様に心より感謝申し上げます。



**研修医の先生方、お疲れ様でした！！**

# 第78回済生会学会・令和7年度済生会総会開催

第78回済生会学会・令和7年度済生会総会が2月14・15日の2日間、「働かん方改革！?-医療生産性の効率化を求めて-」をテーマに、びわ湖大津プリンスホテルにて開催され、全国から約2,500人が参加しました。

午後の総会では、済生会総裁の秋篠宮皇嗣殿下より日頃の地域医療と福祉向上のために尽力している職員への温かいおことばを賜りました。

総会には当院から7名の職員が永年勤続表彰を受けました。表彰者より感想を頂きましたのでご紹介いたします。



## 30年表彰

副院長 佐々木俊教

この度は、永年勤続表彰の荣誉にあずかり、心より感謝申し上げます。30年という長きにわたり職務を続けられたのは、ひとえに同僚の先生方と当院職員の皆様のご支援のおかげです。

当院で多くの経験を積むことができ、これらすべてが私の医師としての財産になっています。これからも地域社会への貢献のため一層努力してまいりますので、よろしくお願いたします。

## 20年表彰

看護師 馬場正恵

20年目の学会・総会へ参加でき嬉しく思うと同時に、沢山の方々のお力添えや支えていただいたことを感謝いたします。

済生会の取り組みや規模の大きさは、院内勉強会等でも知っていましたが、あらためて済生会の素晴らしさに感動しました。これからも心身共に健康に勤務していきたいと思います。何卒よろしくお願申し上げます。

医事課 藤原三恵

20年とはとても長い時間であり、公私ともに色々なことがありました。

20年前、初めて病院に勤めることとなり、知らないことばかりで戸惑うことも多々ありました。総務課で17年勤務してきた中では、職員の方々をどのようにサポートすれば気持ちよく働けるかを考えたり、給与関係の法律を勉強したりなどしながら今までやってきました。今後も人として成長しながら、勤務していきたくと考えます。

## 10年表彰

看護師 高橋恵理子

この度は永年勤続10年の表彰をいただき、心より感謝申し上げます。平成25年3月に済生会川俣病院へ入職しました。

入職後、放送大学や通信課程で学び正看資格を取得しました。国試直前に発病し、退学や退職も考えましたが、多くの方に支えられ、続けることができました。現在は外来と透析室に勤務しております。外来では限られた時間の中で患者さんと向き合っています。一人ひとりの声を大切に、住み慣れた地域でその人らしい生活と治療が続けられるよう、多職種と力を合わせ、地域に安心を届けられる看護師でありたいと思います。

理学療法士 佐藤 佑亮

改めて入職からの日々を振り返ると本当にあっという間の10年でした。右も左も分からない新人の頃から指導して下さったりハビリ職の諸先輩方をはじめ、川俣病院・なでこ川俣の皆様には感謝の気持ちでいっぱいです。この場をお借りして心より御礼申し上げます。

今後は理学療法士として更なる成長を目指すとともに、川俣病院やケアセンター全体の発展にも微力ながら貢献出来るよう今まで以上に努力して参りますので引き続きよろしくお願いたします。

地域包括支援センター 佐藤雅博

10年勤続表彰を受けさせていただきありがとうございます。ケアマネの経験がないまま包括の仕事で10年続けられたのも、ケアセンターの皆様のおかげとっております。今後も体調、特に飲みすぎに注意して頑張りたいと思います。今後ともよろしくお願いたします。

理学療法士 大河内 映

10年という月日の短さに驚きながらも、沢山の職員の皆様に助けて頂いたからこそ今日まで働いてくる事が出来たのだと感じています。

この10年間では川俣病院での医療保険分野だけではなく、なでこ川俣で介護保険分野についても学ばせて頂く機会もありました。病院と施設、患者様と利用者様といった立場は違いますが一人の理学療法士として、ご本人様やご家族様が安心して日常生活を送れるような手助けをこれからも続けていきたくと思っております。

## 緩和ケアと人生会議

～アドバンス・ケア・プランニングとアドバンス・ライフ・プランニング～

川俣町地域包括支援センター  
所長 宮口正稔



「緩和ケア」は、重い病気を抱える本人や家族の心身や心の様々なつらさをやわらげ、より豊かな人生を送ることができるようにしていくケアです。「人生会議」は、本人・家族・医療従事者と人生の最期をどう過ごしたいかどのような医療（緩和ケア等）を希望しているのかを話し合い考えを共有することを目的に開催します。

人生会議には、  
病気を発症した時に、どこでどのような医療（ケア）を受けたいかを話し合う会議（アドバンス・ケア・プランニング）と、  
病気になる手前の健康な時から自分は何を大切にしているのか、どのような人生を歩みたいかといった、将来の暮らし（ライフ）について考える会議（アドバンス・ライフ・プランニング）の2通りの会議があります。

例えば、皆さんが重い病気になり緩和ケアが必要になった際、お医者さんや看護師さんと人生会議（アドバンス・ケア・プランニング）を開催し、「どこで、どのような医療を受けたいですか？最期をどのように迎えたいですか？」と聞かれたとしましょう。大半の人は「突然、そんなことを言われても・・・。」と困ってしまうのではないのでしょうか。

そうならないために、健康な時から自分や大切な家族と将来の暮らし方や最期の過ごし方について話をする人生会議（アドバンス・ライフ・プランニング）の機会を持つことが重要なポイントになるのです。最期をどこでどのように過ごしたいか、そのために必要な事は何かを話す中で、必然的に医療についての話題も出てくると思います。

しかし、「まだ元気なのに、人生の最期の話をするなんて縁起でもない！」という考えは、まだ強くあるのも事実です。

元気なうちから、最期の時期の暮らし方を話し合う人生会議の機会を持てるように、地域の意識醸成を図っていく事が川俣町地域包括支援センターに求められる課題に感じます。また、人生会議で決めたことを、できるだけサポートしていけるようにチームでサポートしていく事が済生会地域ケアセンターに求められている事ではないのでしょうか。多職種が連携し、それぞれの専門性を活かしてより良い緩和ケアが提供できるように努めていきたいと思えます。



# お楽しみ食堂 開催！

地域連携室 社会福祉士 鈴木千尋

令和8年3月28日（土）、「第2回おたのしみ食堂」を川俣町保健センターにおいて開催しました。この事業は、済生会川俣地域ケアセンター、川俣町保健福祉課、川俣町社会福祉協議会が連携し、食を通じて地域の子ども、高齢者、障がい者が交流することで、社会的孤立の予防につなげることを目的として実施しています。

今回は、第1回開催から8年ぶりの開催となりました。新型コロナウイルス感染症の影響により長らく実施を見合わせていましたが、感染状況が落ち着いてきたことから、第2回目の開催に至りました。

当日は、モルックやポッチャなどのレクリエーションスポーツ、けん玉やこま回しなどの昔遊びを通して、参加者同士が交流を深めました。また、当センター栄養士手作りの昼食が振る舞われ、楽しいひとときを過ごしました。交通手段が限られる高齢者の方には送迎も行い、職員含め総勢100名が参加しました。

参加者からは、「こんなに楽しいのは久しぶりだ」「あっという間だった、帰りたくない」「また参加するからぜひ開催してほしい」といった声が聞かれ、大変好評でした。

今後も、地域住民の交流の場として毎年継続して開催できるよう、準備を進めてまいります。



# 新しい検査装置を導入しました —より体に優しく、正確な診断のために—

放射線室 主任診療放射線技師 安齋洋之

当院では令和8年3月16日より、最新の「**X線テレビシステム（透視装置）**」と、当院初となる「**骨塩定量装置**」を導入し、運用を開始いたしました。地域の皆様の健康を支えるため、より安全で質の高い検査環境を整えています。

## 精度の高いバリウム検査をより安全に

### — 最新の透視装置 —

新しくなった「X線テレビシステム（CUREVIST Open）」は、主にバリウムを用いて胃や腸の様子をリアルタイムの動画で観察する「透視検査」に使用する装置です。

この装置は「完全天井走行機構」を備えており、カメラ（装置）が前後左右へ自在に移動します。今までの装置は検査台自体を大きく動かしていたため、患者様が激しく揺れたり、微調整が難しく検査時間が長引いたりして、無理な動きを強いる負担がありました。新装置では、カメラ側が最適な位置へスムーズに動くため、患者様の負担を最小限に抑えられます。

また、医師や医療スタッフの手元で細かな調整ができるようになったことで、より安全で確実な手技が可能になりました。最新技術により、画像の鮮明さを保ちながら体への放射線（被ばく量）を従来の半分に抑えている点も大きな特徴です。



## 骨の健康を正確に守る — 骨密度検査（DEX法） —

あわせて導入した「骨塩定量装置（ALPHYS LF）」は、骨の強さを数値化して「骨密度」を調べるための装置です。当院では、日本骨粗鬆症学会のガイドラインでも推奨されている、世界的な標準検査「DEX（デキサ）法」を採用しました。

### — 最も信頼される検査方法 —

2種類の微量なX線を使うことで、筋肉や脂肪の影響を受けずに骨の成分を正確に測定できます。他の簡易的な方法に比べ診断の精度が非常に高く、わずかな変化も見逃しません。また被ばく量はとても少なく、安心して受けていただけます。

### — 検査部位と時間 —

特に骨折しやすい「腰の骨（腰椎）」や「足の付け根（大腿骨）」を直接測定します。撮影時間は5分から10分程度と短く、寝ているだけで負担なく終わります。

### — なぜ骨密度の検査が大切なのか？ —

骨粗しょう症は「沈黙の病」と呼ばれ、自覚症状がないまま進行し、ある日突然の骨折から寝たきりにつながることもある病気です。

特に、閉経後の女性や高齢の方、過去に軽い転倒で骨折した経験がある方にとって、この精密検査は非常に有用です。最新の装置で定期的にチェックすることで、骨がもろくなる兆候を早期に発見し、適切な予防や治療を行うことができます。これからも、地域の皆様が安心して受診できる医療環境づくりに努めてまいります。検査について気になることがあれば、お気軽にスタッフへお尋ねください。



令和8年6月～スタート!

# 退院後 訪問栄養食事指導

ご自宅での栄養サポートをお手伝いします!



退院後、管理栄養士が  
ご自宅へ訪問



食事のアドバイス  
(自宅で栄養指導)



栄養相談・指導を  
行い、栄養管理をサポート

病気の予防・回復に向けた食事改善をお手伝いします!



低栄養の予防



嚥下調整食のアドバイス



生活習慣病の食事管理

医療保険が利用できます(自己負担割合に応じた費用)  
お気軽にお問い合わせください!

【お問い合わせ】

済生会川俣病院 栄養管理室

TEL:024-566-2323



# 外来診療予定表

令和8年6月1日 現在

休診日

日曜日、祝祭日、年末年始(12月30日～1月3日)、毎月第1・第3土曜日

		受付時間	月	火	水	木	金	土	
内科	一診	8:45~11:30	佐々木俊教	数田 良宏	佐々木俊教	大庭 敬	佐久間博史	佐々木俊教 数田 良宏 大島 康嘉 第2・4・5 (交代制)	
	二診	8:45~11:30	角田理恵子	君島 弘子	渡辺 浩志	渡辺 浩志	君島 弘子	佐久間博史 渡辺 浩志 第2・4・5 (交代制)	
	循環器	8:45~11:30		福島医大 (予約)				済生会福島 第2	
	リウマチ	8:45~11:30					福島医大 (予約)		
	午後	一診	13:00~15:30	佐久間博史	大島 康嘉	数田 良宏	大庭 敬	君島 弘子	
		循環器	13:00~15:30		福島医大 (予約)				
		リウマチ	13:00~15:30					福島医大 (予約)	
外科	午前	8:45~11:30		福島医大	芳賀 志郎		済生会福島		
	午後	13:00~15:30		福島医大					
整形外科	午前	8:45~11:00	医大(予約) 第1・3・5		福島医大 (予約)	医大(予約) 第2・4		医大(予約) 第2・4・5	
5月より泌尿器科の火曜の診療は午前に変更となりました。									
泌尿器科	午前	8:45~11:00		山中 直人 (予約)					
	午後	13:00~15:30	山中 直人		山中 直人 (予約)		山中 直人		
5月より眼科の月曜の午前診療を開始しました。									
眼科	午前	8:45~10:30	福島医大 (予約)			福島医大 (予約)		福島医大 第4 (予約)	
	午後	13:00~15:00			福島医大 (予約)				
皮膚科	午前	8:45~11:00		福島医大 (予約)					
小児科の診療を開始しました。									
小児科	午後	13:00~16:00		武藤 茂生			武藤 茂生		



済生会川俣地域ケアセンター

済生会川俣病院

電話：024-566-2323

ホームページ

<https://kawamata.saiseikai.or.jp>

済生会春日診療所

電話 024-566-2707

川俣町国民健康保険山木屋診療所(指定管理)

電話 024-563-2024

特別養護老人ホームはなづか

電話 024-566-2661

介護老人保健施設めぐみ

電話 024-566-2661

通所リハビリテーションめぐみ

電話 024-566-2661

養護老人ホーム 済生会川俣光風園

電話 024-566-3221

済生会川俣光風園訪問介護事業所

電話 024-538-0035

済生会川俣訪問介護ステーション

電話 024-566-2323

済生会かわまた居宅介護支援事業所

電話 024-566-2657

川俣町地域包括支援センター

電話 024-538-2600

済生会川俣病院指定訪問リハビリテーション

電話 024-566-2323